

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ななつば（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 3日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	人的要素(マンパワー・人的資源)	保育士・看護師・助産師・PTなど様々な専門職を配置し、ひとりひとりに寄り添った療育を提供している。	それぞれの専門職の知識、手技をスタッフ間で伝達・共有し、より良い療育につなげていく。
2	制作活動	保育士や児童支援員が主体となり、事業所内の飾りつけや雰囲気作りをしている。個性や個々に合わせた方法で活動を行っている。	四季などの季節感や、一年の行事を日々の活動などに取り入れる工夫をしながら、誰もが楽しみながら「できる」を意識した支援を行っている。
3	個別支援計画や療育記録	5領域を柱とし、アセスメントやモニタリングを丁寧に行い、日常や社会生活に添った、支援計画を立案している。毎日の様子を詳細に記録し、振り返りを行っている。	アセスメントやモニタリングについてスタッフ間で、意見を出し合い、また保護者からの意見を聞いたり利用児本人のニーズの把握に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別スペース確保が困難	ゾーニングや場面転換の為に個別部屋がない。	カーテンレールの使用や、スペースを有効活用出来るように検討を行っている。
2	第三者の介入が少ない	資金面、スタッフ確保、スケジュール調整。	今年度夏期に、他事業所のスタッフと協力し、保護者様参加のプール貸し切り企画を行った。試験的な実施であり、重心・医ケア児のみの対象であった為、今後もイベントを検討していく。
3			